

平成25年度市民ワーキング基本設計部会の進め方(案)

資料5

- (1) 市民参加の想定人数を40～50人程度とする。
- (2) 基本設計部会は、基本設計完了までに5回程度とする。

市民	15人程度×3グループ=45人程度
ファシリテーター	1人×3グループ=3人
事務局	文化政策課
設計者	ワーキングに参加し、検討の状況を把握する。状況に応じて説明を行う。(人数は4人程度)

- (3) 市民ワーキングの意見は建設計画専門分科会を通じて、設計案の発表時に反映される。

回数	意見を提示する分科会	意見を反映する設計案
ワーキング①		第1回設計(案)
ワーキング②	建設計画専門分科会②	第2回設計(案)
ワーキング③	建設計画専門分科会②	第2回設計(案)
ワーキング④	建設計画専門分科会③	第3回設計(案)
パブリックコメント・意見交換会		第4回設計(案)
ワーキング⑤	建設計画専門分科会④	最終案

- (4) 各回ごとにメインテーマとサブテーマを中心議論を行う。なお、テーマごとに専門委員を配置する。

	ワーキング①	ワーキング②	ワーキング③	ワーキング④	ワーキング⑤
	ワーキング① プロポ案について	ワーキング② 第1回設計(案)について	ワーキング③ 第1回設計(案)について	ワーキング④ 第2回設計(案)について	ワーキング⑤ 第4回設計案について
メインテーマ	・プロポーザル案のガイダンス ・基本計画がどのように形になっているのか。 ・どのような点が課題となるか。	・第1回設計(案)のガイダンス ・大、小ホールの積み残し	・第1回設計案発表を受けて、どのような課題が残っているか。 ・展示系、創造系、支援系の積み残し ・とりまとめ	・第2回設計(案)のガイダンス ・景観、ボリュームの積み残し	・第4回設計案のガイダンス ・第4回設計案発表を受けて、どのような課題が残っているか。 ・とりまとめ ・全体のふりかえり
サブテーマ	大・小ホール系 ・この大小ホールをどう使うか。(規模、舞台、袖等、搬入) ・大小ホールに必要な機能(楽屋・倉庫・クローク等)	展示系・創造・支援系 ・展示系に必要な機能(ギャラリー等) ・創造系・支援系に必要な機能(水場、スタジオ、大型楽器庫、サポーター室、託児室等) ・練習室・リハーサル室について(規模、位置付け) ・創造スタッフ室について(規模、位置付け)	景観・ボリューム ・広場の活用法について ・ボリュームの整理 ・景観について	交流系・管理系 ・広場の活用法について ・交流系に必要な機能(インフォメーション機能、オープンロビー機能、レストラン等) ・管理系に必要な機能(技術員控え室、喫煙室、防災センター等)	
担当委員	市来委員	三ツ山委員 (予定)	勝又委員 (予定)	桧森委員 (予定)	勝又委員 (予定)

- ・テーマに沿った機能について、具体的な活動、使い方を踏まえて議論を行い、グループごとにとりまとめを行う。
- ・とりまとめた内容については建設計画専門分科会において、内容を精査し、基本設計に反映が必要な事項については設計者と協議の上、設計案に反映させる。

メインテーマ	休憩	サブテーマ	休憩	とりまとめ団レゼン	計
45分	10分	45分	10分	30分	140分